

むつ下北TS 第1回研修会

「対人関係と性」「社会的やりとり」「複雑なニーズを抱えた」
知的障がいや発達障がいの青年・人を

地域で!
人垣で!

「自分で、自分の、人生の
GoodWayを決める」を
グッドウェイ

支援する!

Keep Safe

キープセーフ

正規インストラクター研修会

受講料
15,000円
定員 35名

講師：堀江まゆみ先生
白梅学園大学

2026年 7月25日(土)
～26日(日)

時間 9:30～16:30
全日程を受講した方には受講修了証を発行し、名簿登録します

会場 はまゆり学園 多目的ホール(むつ市奥内字栖立場1-67)

受講料 15,000円
(2日間の受講料・カラーマニュアル・教材提供・バックアップ・登録料を含む)

参加対象：福祉支援者、教員やSSW・SCなどの関係者、保健師、医療関係者
弁護士や矯正施設などの司法関係者、行政など

主催 一般社団法人ACCESS to JUSTICE 共催 PandA-J

後援：青森県発達障がい者支援センター「ステップ」、大間町役場、東通村役場

お問い合わせ むつ下北TSネット事務局(堀江まゆみ・山田まり子)
mayumi@shiraume.ac.jp

申込はこちら



Keep Safeプログラム

1.なぜ今、KeepSafeが必要なのか？

「イヤだと言えない」「距離感がわからない」「よかれと思った行動がトラブルになる」……対人関係や性の問題で「複雑なニーズ」を抱える若者たちは決して少なくありません。KeepSafeプログラムは、正しい知識を教える性教育ではありません。

「自分自身の心地よさ(GoodWay)を自分で決める」という力を育むプログラムです。知的障がいや発達障がいのある方向けのわかりやすいプログラムとなっているので、どんな人にとっても直感的で、言葉だけで伝えることが難しい「尊重」の形に見える化して伝えることができます。

障がいのある方はもちろん、社会的養護下で暮らす若者や、地域で暮らす生きづらさを抱える若者たちが、搾取されることなく自分を大切に生きるための「一生もののスキル」を伝えます。

2.KeepSafeで学べること

英国のKent大学で開発されたプログラムで、NPO法人PandA-J(代表 白梅大学 堀江まゆみ)が日本での実践として研究・導入し、全国の福祉・教育現場で確かな成果を得ています。

研修は、講義と少人数での演習中心の学びとなります。

- ・境界線(バウンダリー)の可視化 : 言葉だけでは伝わりにくい「人との距離感」を、誰にでもわかる形で伝える方法。
- ・「Good Way」の選択 : 周囲の期待ではなく、本人が「自分で自分の幸せ」を選択するための支援のあり方。
- ・他職種で作るネットワーク : 過去の研修では、教員、看護師、放デイスタッフ、相談支援専門員、心理職など、多様な専門家が参加。若者を地域で支える「人垣の支援」を目指しています。

3.実績

KeepSafeプログラムの実践の始まりは福祉の現場です。盛岡の発達障がい者支援センターや新潟の障がい者機関相談支援センターなどが実践を重ねています。また、静岡、滋賀、福岡、北海道の複数の自治体でも相談支援センターを中心に広がっています。

教育実践は、東京都の特別支援学校のほか、中学校特別支援学級、埼玉・横浜の特別支援学校で行われており、「生徒への効果だけではなく、教員への効果も認められ、生徒指導の在り方や校内体制の変化につながった」との声もいただいています。

全国TSネットワーク

「これはいったい、どうしたらいいんだろう……」と困った経験はありませんか？突然のトラブルに一緒に対応するために私たちは発足しました。

知的障がい・発達障がい・精神障がい等のある方は、その障がい特性から誤解されやすく、それによって問題と見える行動や事件(金銭的トラブル、性的犯罪など)を起こしてしまうことがあります。

地域の多くの人々が障がいを正しく理解し、彼らの抱える生きづらさに寄り添った支援をすることで「社会生活」を送ることが可能になります。「自尊心」を大切に「心豊かに生きる」を目標に支援を考え、司法・医療・行政・福祉・教育・地域などが連携・協力する仕組みを構築していくことが必要です。

TS(トラブルシューター)とは各領域/分野をつなぎ、ネットワークを作っていく新しい人材育成とその取り組みです。TSは全国で活動しています。